

認定番号：052 サポーター名：洪水予測データ活用型流域治水共同研究メンバー
(東京大学・名古屋大学・JAXA・あいおいニッセイ同和損保)

実施内容の分類：(7) その他、流域治水の優良な活動についての周知など流域治水に資すると国土交通省が認める取組

取組実績	■取組の概要：長野県をフィールドとした長時間洪水予測の社会実装 - 東京大学・JAXA共同研究グループが運用する「Today's Earth-Japan」の長時間洪水予測機能と、長野県が保有する水位計・ダム・下水道施設等のデータを搭載した「長野県版cmap」を開発し、県庁および県内市町村の職員に提供 - 洪水リスクを早期に検知して地図上に表示するとともに、リスクの高まりを職員へアラートメールで発信 - 予測情報の社会実装に伴う効果検証、洪水予測の精度向上・高度化に関する共同研究を実施 ■成果：農林水産省「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を取得 - 本取組が農山漁村振興への貢献活動として評価され、報告対象期間中の2026年3月13日、農林水産省より「令和7年度 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」（取組名：長時間洪水予測を活用した農山村の洪水リスク回避・軽減）を取得 - 共同研究メンバーであり流域治水オフィシャルサポーターでもある4者(東京大学・名古屋大学・JAXA・あいおいニッセイ同和損保)を代表してあいおいニッセイ同和損保が取得 - 証明書記載の取組期間（2021年10月～2024年2月）は、過去の取組を認定する同制度の要件に沿った記載であり、本取組は現在も継続中 ■今後の展開 - JST未来社会創造事業「顕在化する社会課題の解決」領域の支援（2028年度まで）のもと、農地・山林が多く存在する長野県77市町村において、長時間洪水予測のさらなる活用可能性を検証していく	MAFF 農林水産省 発行日：2026年3月13日 有効期間：2029年3月末 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書 実施者 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 取組概要 取組名：長時間洪水予測を活用した農山村の洪水リスク回避・軽減 実施地域：長野県 アクティビティ種別：※その他（長時間洪水予測を活用した農山村の洪水リスク回避・軽減） 取組形態：□直接的貢献 □間接的貢献（□人財 □金銭的 □物資・技術的） 取組実施日・期間：2021年10月～2024年2月 取組詳細 取組の目的・解決したい課題 洪水予測データを活用した流域治水の検証と地域防災力強化。長野県における洪水被害の多発化に伴う、避難体制の施設性改善及び農業被害の拡大防止 インプット ✓リアルタイム被害予測ウェブサイト「長野県版 cmap」の開発 ✓その他関係者からのインプット（東京大学・JAXA の共同研究グループが運用する Today's Earth-Japan の長時間洪水予測機能、長野県が保有する水位・ダム・下水道施設等のデータ等） アクティビティ ✓「長野県版 cmap」を開発し県内市町村に提供 ・地図上に水位計・ダム・下水道施設などの県保有施設を表示し、洪水予測が発出された地点と県保有施設との距離感を容易に確認できるように表示。 ・利用者はアラートメールで洪水リスクの高まりを瞬時に把握できるほか、県保有施設との位置関係を含めて一元的に確認可能。 ✓予測情報の社会実装による効果検証、洪水予測の精度向上・高度化に関する共同研究の実施 今後の展開 洪水被害が国内で毎年発生しているが、農山村地域は、急峻な崖地を有する河川沿いの地形やインフラ整備の限界などにより被害が発生しやすい。今後、JST未来社会創造事業「顕在化する社会課題の解決」領域による支援（2028年度まで）のもと、農地・山林が多く存在する長野県77市町村において、長時間洪水予測のさらなる活用可能性を検証していく。
-----------------	--	---